

会 告

日本きのこ学会第 28 回大会のご案内（第 2 回）

日本きのこ学会第 28 回大会のプログラムが決定しましたので、お知らせいたします。本大会では、韓国きのこ学会会長 Hyun-Jae Shin 先生をお招きし、特別公演を行います。大会実行委員一同、多数のご参加を心よりお待ちしております。

日本きのこ学会第 28 回大会
大会委員長 熊倉 慧

記

I. 大会概要

1. 期 日：

2025 年 9 月 2 日（火）－ 3 日（水）

2. 会 場：

学会大会 G メッセ群馬 メインホール B
〒370-0044 群馬県高崎市岩押町 12 番 24 号
<https://www.g-messe-gunma.jp>

●メインホール C：ポスター発表会場、休憩室

●大会本部：交流室 204

*オンライン会場について

本大会は一部のみハイブリッド形式（口頭発表と講演はオンラインで視聴可）で開催いたします。オンライン参加を事前申込されている方には E-mail にて Zoom の ID とパスワードを事前に配布いたします。

懇 親 会 ホテルメトロポリタン高崎
〒370-0849 群馬県高崎市八島町 222
(JR 高崎駅直結)
<https://takasaki.metropolitan.jp>

3. 日 程：

9 月 2 日（火）

8：30 － 受付（メインホール B 前）

G メッセ群馬 メインホール B

8：50 － 9：00 学会長挨拶、大会委員長挨拶
9：00 － 10：30 学生会員による口頭発表（G1-6）
10：30 － 10：45 休憩
10：45 － 12：30 学生会員による口頭発表（G7-13）
12：30 － 13：30 昼休憩
13：30 － 14：10 特別講演
14：15 － 16：30 一般口頭発表（A1-7）

G メッセ群馬 メインホール C

16：30 － 17：50 ポスター発表
(中・高校生による特別発表を含む)
(16：30 － 17：10 奇数番号コアタイム)
(17：10 － 17：50 偶数番号コアタイム)

ホテルメトロポリタン高崎

18：40 － 20：40 懇親会

9 月 3 日（水）

G メッセ群馬 メインホール B

9：00 － 9：55 授賞式、受賞講演
10：00 － 11：45 シンポジウム
11：45 － 12：45 昼休憩
12：45 － 14：15 一般口頭発表（B1-6）
14：15 － 14：30 休憩
14：30 － 16：15 一般口頭発表（B7-11）
16：15 － 閉会挨拶

II. プログラム

1. 特別講演 [9 月 2 日（火）13：30 － 14：10]

場所：G メッセ群馬 メインホール B
「Mushroom Mycelium as the Next-Generation Biomaterial: From Strain Development to Sustainable Product Innovation」
President of Korea Society of Mushroom Science
Hyun-Jae Shin
(Department of Biochemical Engineering,
Chosun University, Korea)

2. 懇親会 [9 月 2 日（火）18：40 － 20：40]

場所：ホテルメトロポリタン高崎 6F 丹頂の間
〒370-0849 群馬県高崎市八島町 222
(JR 高崎駅直結) <https://takasaki.metropolitan.jp>

3. 受賞者講演 [9 月 3 日（水）9：00 － 9：55]

場 所：G メッセ群馬 メインホール B

W1 技術賞

「ヒラタケ属 (*Pleurotus* sp.) の新種及びその作出方法の開発」
石川真梨子・大内謙二・稲富 聡 氏 他
(ホクト株式会社 きのこ総合研究所)

W2 奨励賞

「マンネンタケ抽出物の機能性及びその発現機構に関

する研究」

熊倉 慧 氏 (高崎健康福祉大学 農学部)

4. シンポジウム [9月3日(水) 10:00 - 11:45]

場 所: G メッセ群馬 メインホール B

テーマ: 「新規きのこの栽培化—課題と方向性—」

- S1 「絶滅危惧種キリノミタケの生息域外保全」
中澤 武 氏 (一般財団法人日本きのこ研究所)
- S2 「茯苓の国産化(菌床栽培)に向けた取り組み」
廣居 啓子 氏 (株式会社ツムラ)
- S3 「菌根菌の人工栽培に関する研究開発—やっぱりマツタケは難しい—」
山中 高史 氏

(国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所 東北支所)

- S4 「岩手県におけるアミガサタケの栽培化に向けた研究」
成松 眞樹 氏 (岩手県林業技術センター)

5. 学生会員による口頭発表

場所: G メッセ群馬 メインホール B

* 演題番号に * のついている発表はポスター発表もあります。

[9月2日(火) 9:00 - 10:30]

- G1* シイタケ成分によって産生が誘導される細菌由来の β -1,6-グルカナーゼ
○二野屏匠¹⁾, 金野尚武²⁾, 羽生直人²⁾
(¹⁾宇都宮大院・地域創生, (²⁾宇都宮大・農)
- G2* シイタケ由来の中性トレハラーゼ遺伝子のクローニングと発現
○中村 結¹⁾, 中澤昌美¹⁾, 阪本龍司¹⁾, 丸山正恵²⁾, 原田慎嗣²⁾, 石川真梨子²⁾, 小林 仁²⁾, 大内謙二²⁾, 稲富 聡²⁾, 上田光宏¹⁾
(¹⁾大阪公立大院・農, (²⁾ホクト・きのこ総合研)
- G3* 固体培地におけるマツタケ菌糸のアミラーゼ活性と菌糸体量の関係
○和田康太郎, 滝沢輪旺, 杉本大輔, 福田泰久, 白坂憲章 (近畿大院・農)
- G4 定期的な移植が継代培養きのこ菌株へ与える影響の調査
○喜多優希¹⁾, 嶋本安佐子²⁾, 竹内明日美²⁾, 早乙女梢²⁾
(¹⁾鳥取大院・持続性, (²⁾鳥取大・農)
- G5* Evaluation of mycelial activity in *Pleurotus ostreatus* and *Hypsizygus marmoreus* cultivated in sawdust using MitoTracker Red
○Ade Aliyya Puspita Sari¹⁾, Miho Fujii²⁾, Masahiro Shiroishi³⁾, Takayuki Higuchi⁴⁾, Maho

Yoshioka⁴⁾, Shinya Ito⁴⁾, Tadanori Aimi²⁾ and Norihiro Shimomura²⁾

(¹⁾UGSA, Tottori Univ., (²⁾Fac. Agric., Tottori Univ., (³⁾Agricultural Technology, Institute of Nagano Farmers' Federation, (⁴⁾DENKA CO., LTD)

- G6* *pkac1* 遺伝子破壊がヒラタケのリグニン分解に与える影響

○夏原 稜¹⁾, 本田与一²⁾, 上辻久敏³⁾, 住田卓也¹⁾, 泉津弘佑¹⁾, 入江俊一¹⁾
(¹⁾滋賀県大・環境, (²⁾京都大院・農, (³⁾岐阜森林研)

[9月2日(火) 10:45 - 12:30]

- G7 ヒラタケの細胞壁合成制御転写因子 Mbp1 及び Swi6 の機能解析と菌糸体マテリアルの物性改変
○小島隼星¹⁾, 和泉貴哉¹⁾, 河内護之¹⁾, Schiphof Kim¹⁾, 大塚 唯¹⁾, Shin Hyun-Jae³⁾, Im Ho-Seong³⁾, 辻健也¹⁾, 吉見 啓^{1,2)}, 田中千尋^{1,2)}, 矢野成和⁴⁾, 中沢威人¹⁾, 本田与一¹⁾
(¹⁾京都大院・農, (²⁾京都大院・地環, (³⁾朝鮮大・工, (⁴⁾山形大院・理工)
- G8* 冬虫夏草サナギタケの子実体形成に関わる遺伝子の探索
○張吉麗¹⁾, 小野晶子²⁾, 松田里菜¹⁾, 木津川結奈¹⁾, 道羅英夫^{3,4)}, 鈴木智大^{1,4)}
(¹⁾宇都宮大・バイオ, (²⁾静岡大・グローバル共創, (³⁾静岡大・グリーン研, (⁴⁾静岡大・キノコ科研)
- G9* シイタケの収量性に関わる遺伝因子の特定とメーカー開発
○木津川結奈¹⁾, 張吉麗¹⁾, 三ッ國佳祐¹⁾, 大橋勇敢²⁾, 田中祐生²⁾, 田村孝史²⁾, 小野晶子¹⁾, 金野尚武³⁾, 鈴木智大¹⁾
(¹⁾宇都宮大・バイオ, (²⁾森産業, (³⁾宇都宮大・農)
- G10* バカマツタケの香気成分に関する研究
○中村綾那, 楠田瑞穂, 阪本龍司, 中澤昌美, 寺下隆夫, 上田光宏 (大阪公立大学院・農)
- G11* マツタケ菌糸体の食品利用についての可能性
○篠木駿吾, 兼子賢也, 隅田 茜, 福田泰久, 白坂憲章 (近畿大・農)
- G12 きのこと麴を用いた発酵高野豆腐及び発酵牛すじ肉の検討
○久保田真実¹⁾, 竹本尚未²⁾, 福田史織^{1,3)}, 松井徳光^{1,3)}
(¹⁾武庫女大院・食栄, (²⁾梅花女子大・管栄, (³⁾武庫川女子大・食栄)
- G13* きのこと類を用いた新規な高グアニル酸含有出汁の製造
○老沼虎太郎¹⁾, 本間裕人²⁾, 角田宏之³⁾, 荻原 慎³⁾, 榎本直樹³⁾

(¹東京農大院・応生, ²東京農大・応生, ³Mizkan Holdings)

6. 一般口頭発表

場所：G メッセ群馬 メインホール B

* 演題番号に * のついている発表はポスター発表もあります。

[9月2日(火) 14:15 - 16:30]

- A1* 食品副産物を用いた液体培地によるヤマブシタケ (*Hericium erinaceus*) 菌糸体の製造方法の探索
○小堀 一^{1,2}, 増野和彦³, 河岸洋和^{2,4}
(¹岩出菌学研究所, ²静岡大・キノコ科学研究所, ³長野県林業総合センター, ⁴静岡大・農)
- A2* 担子菌の発酵能によるチョコレート中のテオブロミンおよびカフェイン含有量の変化について
○福田史織^{1,2}, 中田桃歌¹, 氏本歩花¹, 鮫島由香³, 竹本尚未⁴, 松井徳光^{1,2}
(¹武庫川女子大・食栄, ²武庫女大院・食栄, ³羽衣国際大・食栄, ⁴梅花女子大・管栄)
- A3* しいたけを活用した新しいだし素材の開発
○杉村直樹¹, 山本 聡¹, 大場知子¹, 橋詰昌幸¹, 早乙女梢², 喜多優希³
(¹マルハチ村松, ²鳥取大・農, ³鳥取大院・持続性)
- A4* 菌床シイタケ栽培施設における振動を利用した害虫防除及び子実体発生管理の試み
○向井裕美¹, 河野雅史², 陶山 純², 小野寺隆一³, 高梨琢磨⁴
(¹森林総研, ²みのる産業, ³東北特殊鋼, ⁴福島大)
- A5* 特定防除資材(食酢)が菌床栽培シイタケの子実体に与える影響とシイタケ害虫防除に関する研究
○玉井一彦¹, 野崎耕作¹, 小堀富広¹, 向井裕美²
(¹アース製薬・研究部, ²森林総研・関西支所)
- A6 日本産エノキタケの学名に関する統合的アプローチ
○清水宏幸^{1,2}, 升本 宙², 山田明義²
(¹長野農工研, ²信州大院・総合医理工)
- A7 Genome-wide study of fruiting body color variation in *Flammulina velutipes*
○Ji-Hoon Im¹, Youn-Lee Oh¹, Minji Oh¹, Eun-ji Lee¹, Woo Sung-I¹, Min-Seek Kim¹, Doo-Ho Choi¹, Young-Jin Park²
(¹Mushroom Research Division, NIHHS, RDA, Korea ²College Biomed. Health Sci., Konkuk Univ., Korea)

[9月3日(水) 12:45 - 14:15]

- B1 「美味しさ」に着目したナメコ栽培技術の開発(14) 一味分析による選抜株の官能評価
○増野和彦¹, 城石雅弘², 中村美晴², 古川 仁¹,

宮澤紀子³

(¹長野県林総センター, ²長野県農工研, ³女子栄養大学)

- B2 栽培用種菌の前処理によるシイタケ菌床栽培への効果
○原田 陽¹, 吉野(齋藤) 沙弥佳²
(¹道総研林産試験場, ²道総研本部)
- B3 ダニトラップ専用 PY-C2 培地の開発
○風間 宏¹, 小木曾秀紀²
(¹長野県農政部農業技術課, ²長野県野菜花き試験場)
- B4 エノキタケ水耕栽培の可能性の検討
○沢柳幸弘¹, 三谷梨紗², 福田史織², 松井徳光²
(¹沢柳きのこ園, ²武庫川女子大・食栄)
- B5 マイタケ菌床栽培におけるおが粉散水処理の影響評価
○寺田透弥, 北村 啓, 東 智則, 森 満範, 津田 真由美, 関 一人, 檜山 亮(道総研林産試験場)
- B6 マツタケのシロ土壌の真菌群集構造の調査(第2報)
○高瀬尚文, プリエト ラファエル, 關谷次郎
(京都先端科学大・バイオ環境)

[9月3日(水) 14:30 - 16:15]

- B7 外生菌根菌バカマツタケのシロ形成に関与する環境因子の探索
○高津幸史¹, 河合昌孝², 今治安弥³
(¹奈良県森林技術センター, ²奈良県フォレストアカデミー, ³元奈良県森林技術センター)
- B8 マツタケ試験地におけるシロ別の時系列発生量の変動
○古川 仁¹, 青木 渉², 山田明義²
(¹長野県林総センター, ²信州大学農学部)
- B9 ホンセイヨウショウロ菌根苗作出方法の検討
○小林久泰, 倉持真寿美, 永井千加子
(茨城県林技センター)
- B10 福島県産野生きのこの放射性セシウム濃度の動向
○広井 勝¹, 影山志保², 諸岡信久¹
(¹元郡山女子大, ²郡山女子大)
- B11 伐採前の立木用放射能濃度スクリーニング検査装置の実地試験
○加賀谷美佳¹, 小林久泰², 石川洋一³, 榎本良治⁴, 片桐秀明⁵, 村石 浩⁴, 渡辺 宝⁴, 大久保幸祐⁴, 塚本ひかり⁴, 溝口孝大⁴
(¹仙台高専・総工, ²茨城県林技センター, ³栃木県林業センター, ⁴北里大・医衛, ⁵茨城大院・理工)

7. ポスター発表 [9月2日(火) 16:30 - 17:50]

場所: G メッセ群馬 メインホール C

* コアタイムについて

16:30 - 17:10

P 奇数番号, G1, G3, G5, G9, G11, G13, A1, A5

17:10 - 17:50

P 偶数番号, G2, G6, G8, G10, A2, A3, A4

P1 廃菌床を活用したシイタケ菌床栽培における各種酵素活性

○佐藤萌々¹⁾, 金野尚武²⁾, 伊藤梨花²⁾, 羽生直人²⁾, 小池玲英³⁾, 山内隆弘³⁾(¹⁾宇都宮大院・地域創生, ²⁾宇都宮大・農, ³⁾北研)

P2 きのかの菌糸成長に関与する自己消化酵素の解析

○亀山侑一郎¹⁾, 羽生直人²⁾, 金野尚武²⁾(¹⁾宇都宮大院・地域創生, ²⁾宇都宮大・農)

P3 マツタケのヒドロペルオキシドリアーゼ遺伝子の構造と発現

○田崎裕二, 岩月るり

(国立高専機構長岡高専・物質工)

P4 さび病菌の祖先種である *Rogerpetersonia torreyae* のゲノム解析○渡邊 望¹⁾, Jingyu Liu²⁾, 齊藤優汰¹⁾, 鈴木智大¹⁾, M. Catherine Aime²⁾(¹⁾宇都宮大・バイオ, ²⁾Purdue Univ.)P5 コムラサキシメジ (*Lepisita sordida*) における AHX の生合成研究○斉藤大暁¹⁾, 杉山弥優²⁾, 崔宰熏^{2,3,4,5)}, 鈴木智大⁶⁾, 道羅英夫^{4,5)}, 平井浩文^{2,3,4,5)}, 河岸洋和^{1,5)}(¹⁾静岡大・農, ²⁾静岡大院・総科技, ³⁾静岡大・共創, ⁴⁾静岡大・グリーン研, ⁵⁾静岡大・キノコ科研, ⁶⁾宇都宮大・バイオ)P6 CRISPR/Cas9 を用いたヒラタケ *wc-2* 遺伝子の破壊が子実体形成に及ぼす影響の解析○豊西悟大¹⁾, 中沢威人¹⁾, 河内護之¹⁾, An Gi Hong²⁾, 本田与一¹⁾(¹⁾京都大院・農, ²⁾Mushroom Research Division, NIHHS, RDA, Korea)P7 Study on the Characteristics and Genetic Causes of Sectoring Phenomenon in *Agaricus bisporus*

○Youn-Lee Oh, Min-Seek Kim, Ji-Hoon Im, Minji Oh, Eunji Lee, Sung-I Woo, Doo-Ho Choi

(Mushroom Research Division, NIHHS, RDA, Korea)

P8 Multi-response modeling and optimization studies of mushroom mycelium growth by RSM and ANN

○Ho-Seong Im¹⁾, Hyun-Jae Shin²⁾(¹⁾Dept. Chem. Eng., Chosun Univ., ²⁾Dept. Biochem.

Eng., Chosun Univ, Korea)

P9 Functional analysis of the class III *chss* in the white-rot basidiomycete *Pleurotus ostreatus*

○Kim Schiphof, Ayane Hitaka, Moriyuki Kawauchi, Akira Yoshimi, Chihiro Tanaka, Takehito Nakazawa, Yoichi Honda

(Grad. Sch. Agric., Kyoto Univ.)

P10 選択的白色腐朽菌 *Gelatoporia subvermispora* における β -グルカン合成酵素遺伝子 *fks1* および *fks2* の機能解析

○菅野純子, 河内護之, 本田与一 (京都大院・農)

P11 コロニーの異なる打ち抜き箇所由来する凍結菌株の復元速度

山下夏葵¹⁾, 喜多優希²⁾, ○早乙女梢¹⁾(¹⁾鳥取大・農, ²⁾鳥取大院・持続性)

P12 きのかの摂取が食事の満腹感と適正化に及ぼす影響

○宮澤紀子¹⁾, 木田マリ¹⁾, 吉本博明²⁾, 江口文陽³⁾(¹⁾女子栄養大・栄養, ²⁾東京情報大, ³⁾東京農大・地域)

P13 キノコ中のセレノネインの安定性における調理プロセスの影響

○永見 萌¹⁾, 松本衣里¹⁾, 世古卓也²⁾, 山下由美子²⁾, 石黒 聡¹⁾(¹⁾日本食品分析センター, ²⁾水産機構技術研)

P14 市販きのかからの乳酸菌の分離とその性質

○竹田 伶¹⁾, 小島琉太²⁾, 菅野紗希²⁾, 辻 聡^{1,2)}(¹⁾高崎健康福祉大院・農, ²⁾高崎健康福祉大・農)

P15 白色アラゲキクラゲ乾燥品の水戻し時の変色防止法

○中東賢譲 (森産業)

P16 培養日数および栽培期間がウスヒラタケ子実体発生量とエルゴチオネイン含有量に与える影響

○井上 伸¹⁾, 上村 聡²⁾(¹⁾三重県林研, ²⁾三重県松阪農林)P17 青柿-キノコ廃菌床複合体による植物成長促進効果
阿部可奈子¹⁾, 下保淳実¹⁾, 岩間充展²⁾, ○三亀啓吾¹⁾(¹⁾新潟大・農, ²⁾アドヴァンス)

P18 シロキクラゲ由来真菌類からの抗クリプトコッカス活性物質の探索

○平野 唯¹⁾, 小島裕貴^{1,2)}, 渡邊善洋^{1,2)}, 常盤俊之²⁾, 大貫由貴¹⁾, 野中健一³⁾, 菅原章公^{1,2)}, 岩月正人^{1,2)}(¹⁾北里大・感染制御, ²⁾北里大・大村研, ³⁾帝京科学大学・生命環境)

P19 シイタケにおけるカドミウム低蓄積株の選抜と無機元素 (Cd, Mn, Zn, Fe, Cu) 蓄積特性について

奥田尚子¹⁾, 牛島秀爾¹⁾, 田淵諒子¹⁾, 作野えみ¹⁾,○寺島和寿¹⁾, 畑下昌範²⁾, 高城啓一²⁾(¹⁾日本きのこセンター・菌叢研, ²⁾若狭湾エネルギー

- ギー研究センター)
- P20 ヤナギマツタケ栽培へのブドウ搾り粕 (パミス) 添加の影響
○亀井健吾¹⁾, 楠田瑞穂²⁾, 寺下隆夫²⁾, 上田光宏²⁾
(¹⁾神戸樟蔭大・食栄, ²⁾大阪公立大・農)
- P21 脱脂米ぬかを活用したエノキタケ菌床栽培用培地資材の開発
○村尾友美¹⁾, 城石雅弘²⁾, 中野照之³⁾
(¹⁾昭和産業, ²⁾長野県農村工業研究所, ³⁾ポーソー油脂)
- P22 ハナイグチの子実体発生と地温との関係
○片桐一弘, 古川 仁, 加藤健一, 増野和彦
(長野県林総センター)
- P23 セルロース不織布によるシイタケ栽培手法の確立
○田村 駿, 前田豪太, 清水博幸, 平栗健史
(日本工大)
- P24 ハタケシメジ菌床栽培の省力化に向けた培地組成の検討
○村田政穂, 久保智裕, 菅原冬樹
(秋田県林業研究研修センター)
- P25 低コスト栽培を目指したアラゲキクラゲの培地組成の検討
○久保智裕, 村田政穂, 菅原冬樹
(秋田県林業研究研修センター)
- P26 廃菌床を活用した菌床シイタケ栽培について
○吉住真理子
(徳島県立農林水産総合技術支援センター)
- P27 外生菌根菌ススケヤマドリタケ (*Boletus hiratsukae*) の栄養寒天培地上での担子胞子発芽
○古川晴香, 仲野翔太, 小林 仁, 大内謙二
(ホクト・きのこ総合研究所)
- P28 菌根菌の試験に適したアカマツコンテナ苗の育苗法の検討
○藤田 徹 (京都府農林水産技術センター)
- P29 林床の放射性セシウム移行における菌類の影響
○佐々木祥人¹⁾, 板橋康弘²⁾, 鳴原 隆²⁾, 操上広志¹⁾
(¹⁾福島国際研究教育機構・地域環境共創ユニット, ²⁾キノックス食用菌研究所)
- P30 コナラ原木内のカリウム分布
○平出政和 (森林総合研究所 きのこ・森林微生物研究領域)
- P31 シイタケ原木林における萌芽更新による放射性 Cs 低減効果
○米田 舜, 石川洋一 (栃木県林業センター)
- P32 シイタケ成長過程追跡のための機械学習によるシイタケ寸法の画像計測法
○小川邦康 (慶應大・理工)
- P33 光強度がマイタケの生体電位と形態形成に及ぼす

影響の解明

- 杉浦裕尚¹⁾, 柳橋秀幸¹⁾, 平間淳司¹⁾, 川口信久²⁾, 山口 優²⁾, 深山寛人²⁾ (¹⁾金沢工大・工, ²⁾一正蒲鉾)
- P34 シイタケ発生促進の雷撃音に対する加速度周波数特性の検証
○前田豪太¹⁾, 田村 駿¹⁾, 清水博幸¹⁾, 平栗健史¹⁾, 高木浩一²⁾, 高梨琢磨³⁾
(¹⁾日本工大, ²⁾岩手大, ³⁾福島大)

8. 中・高校生による特別発表 (ポスター発表)

[9月2日(火) 16:30 - 17:50]

場所: G メッセ群馬 メインホール C

- J1 「ササクレヒトヨタケが溶解する過程の観察と栽培可能な菌床サイズの研究」
発表者: 戸館慧信, 指導教員: 佐藤風喜
(常総学院・高等学校)
支援者: 鈴木清生, 三井 梢 (東京電機)
コアタイム: 16:30 - 17:10
- J2 「ニオウシメジの異なる生育環境における発生量の違い」
発表者: 衣笠裕貴, 小松澤常葉, 小野山和奏
指導教員: 山本 勝, 貝塚昌芳
(常総学院・中学校)
支援者: 鈴木清生, 三井 梢 (東京電機)
コアタイム: 17:10 - 17:50

III. 発表される方への諸注意

口頭発表・ポスター発表とも、日本語または英語で作成し、下記の指針に沿って発表して下さい。なお、図表の作成に当たっては、「色盲の人にもわかるバリアフリープレゼンテーション法」のサイト <https://www.nig.ac.jp/color/gen/> もご参照ください。

1. 口頭発表される方

- (1) 発表時間は交代も含め 15 分を予定しています。12 分の発表と、2 分の質疑応答をお願い致します。
- (2) 発表用 PC は各部屋に Windows 機を 1 台ずつ用意します。発表者は発表データ (PowerPoint ファイル) を USB メモリに保存してご持参下さい。あらかじめ会場の発表用 PC にファイルを保存して頂きます (要旨集にてプログラムをご確認の上、発表直前の休憩時間までに保存してください)。
- (3) 発表終了後、発表ファイルはゴミ箱に残さずに削除します。
- (4) 学生会員による口頭発表の中から「日本きのこ学会 学生優秀発表賞」を選定し、9月3日(水)の閉会式時に表彰する予定です。

2. ポスター発表される方

- (1) ポスター展示の準備は9月2日(火)の8:30から可能になる予定です。ポスター展示は9月2日(火)の16:00までに完了して下さい。限られた時間での議論・審査のためにご協力よろしくお願い致します。
- (2) 発表後の撤収は9月3日(水)12:45までに完了して下さい。
- (3) ポスターサイズはA0サイズ(高さ1189mm×幅841mm)を基準に作成して下さい。ポスター発表スペースは床からの高さ1800mm×幅900mmです。展示パネルに発表番号を記していますので、その下のスペースをご利用ください。テープ等は会場に用意してありますのでご使用ください。
- (4) 上部には必ず、発表題目、発表者氏名および所属を明記して下さい。2m離れたところからも明瞭に読み取れるように、文字や図表の記号などの大きさにご配慮ください。
- (5) ポスター発表の中から「日本きのこ学会優秀ポスター賞」を選定し、9月3日(水)の閉会式時に表彰する予定です。

IV. 参加およびアクセスについて

1. 参加方法

1) 事前申し込みをされた方

大会予約申込者は、当日受付にて製本した講演要旨集、名札、名札ケース、領収書等をお受け取りください。

2) 事前申し込みをされていない方

7月15日までの事前参加申し込みなく大会に参加される方は、当日受付にて以下の大会参加費、懇親会費をお支払いください。

大会参加費(当日、講演要旨集代を含む)

会 員	7,000 円
学生会員	4,000 円
非 会 員	15,000 円

懇親会費(当日)

会 員	9,000 円
学生会員	5,000 円
非 会 員	16,000 円

2. 当日のアクセス・宿泊・食事

1) 大会当日の昼食・宿泊施設

お弁当を事前注文された方は、大会実行委員会でご準備いたしますので当日会場にてお受け取りください。なお、実行委員会では、宿泊等のお世話は致しませんので、ご了承下さい。各自でお取り下さいますようお願いいたします。

2) 大会会場までの交通

以下のウェブサイトの交通案内をご参照下さい。

<https://www.g-messe-gunma.jp/visitor-access.html>



3) 懇親会会場までの交通

懇親会が開催されるホテルメトロポリタン高崎(JR高崎駅西口直結、JR高崎駅6F)へは、各自でご参集下さい。Gメッセ群馬から徒歩15分程度となります。以下のウェブサイトの交通案内をご参照下さい。

<https://takasaki.metropolitan.jp/access/index.html>



V. 大会実行委員および問い合わせ先

熊倉 慧(高崎健康福祉大):大会委員長

田村孝史(森産業株式会社):懇親会

牧野 純(一般財団法人日本きのこ研究所)

:シンポジウム

岩本 綾(森産業株式会社):懇親会・シンポジウム

岡本健吾(高崎健康福祉大):会場

辻 聡(高崎健康福祉大):会場

河内護之(京都大学):特別講演

鈴木智大(宇都宮大学):会計

金野尚武(宇都宮大学):プログラム・事務局

問い合わせ先

〒321-8505 宇都宮市峰町 350

宇都宮大学農学部応用生命化学科

日本きのこ学会 第28回大会

大会実行委員会事務局(金野 尚武)

TEL 028-649-5445

E-mail takasakikinoko.2025@gmail.com